

「男女共同参画プラン」に係る指標の達成度（平成24年度実績）

【主要指標】

施策の体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			21年度	24年度	24年度	27年度		
Ⅰ・男女共同参画をリード・サポートする人材の育成	1 男女共同参画社会基本法の名称又は内容を知っている住民の割合 青少年 ・男女共同参画課	%	60.8	56.0	75.3	90.0	低	前回より4.8ポイント減少したが、これは、東日本大震災により、平成23年度は普及啓発活動を十分実施できなかったことも一因と考えられる。今後は、普及啓発活動に力をいれていく。
	2 男性の男女共同参画サポーター認定者数(累計) 男性のサポーターがいる市町村の割合 青少年 ・男女共同参画課	人 %	68 (H22)	83	85	118	中	平成23年度が目標値を大きく下回ったが、24年度は年間10名の目標に近い9名を認定したところ。今年度は目標を上回るよう、4月に全市町村に対し、文書により指標の周知と目標達成のため男性の受講を促す文書を発出した。次年度以降に向け、男性が参加しやすい方法の検討や商工団体への働きかけを予定。
	3 子育てサポーター認定者数(累計) 生涯学習文化課	人	307	415	367	427	高	平成23年度は震災対応のため中止したが、平成24年度には、生涯学習推進センターの他に被害の大きかった沿岸南部地区でも実施し、多くの参加者を得ることができた。
	4 社会慣習の中での男女の不平等感の割合 [↓(低減する)指標] 青少年 ・男女共同参画課	%	72.8	72.7	66.4	60.0 以下	中	前回に比べ0.1ポイントの減となり微減となった。東日本大震災により、普及啓発活動を十分実施できなかったことも一因と考えられる。不平等感が低減するよう、男女共同参画意識の普及に努めていく。
	5 男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の全審議会における割合 青少年 ・男女共同参画課	%	53.0	56.1	62.0	80.0	中	前年度に比べ、0.8ポイントの減となった。改善された審議会等もあったが、委員改選により悪化した審議会もあり、全体として停滞している結果となった。今年度は、全庁的にこの指標達成に向け取り組んでいく。
	6 県職員管理監督者に占める女性の割合 人事課	%	10.5	11.9	13.7	17.0	中	女性の管理監督者数は、年々増えている。女性職員が管理監督者として一層活躍できるように、ワークライフバランスへの配慮等、働きやすい職場環境づくりを更に進める。
	7 教職員の管理職に占める女性の割合 教職員課	% H22	21.5	20.2	21.9	22.5	低	女性管理職退職者による減。今後も管理職任用選考に基づく任用を進める。

「男女共同参画プラン」に係る指標の達成度（平成24年度実績）

【主要指標】

施策の 体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			21年度	24年度	24年度	27年度		
Ⅱ 家庭・地域・職場において個性と能力を發揮できる社会づくり	8 職場において男女が平等と感じている人の割合 青少年 ・男女共同参画課	%	20.5	23.5	25.2	30.0	中	少しずつ浸透しているが、今後も庁内外と連携し、企業へのワーク・ライフ・バランスについて普及啓発を進めていく。
	9 家族経営協定締結農家数(累計) 農業普及技術課	戸	1,313	1,627	1,600	1,900	高	24年度の新規締結は119戸。 今後も関係機関・団体と連携のうえ、重点推進対象者を明確化・共有化し、推進していく。また、既締結者に対しては、実践状況に応じた協定内容の見直し・充実を推進する。
	10 農業農村指導士に占める女性の割合 農業普及技術課	%	13.3	33.3	21.6	30.0	高	24年度は、認定者9名のうち女性が3名。 今後は農村の活性化に取組む女性の認定拡大に向け、推薦方法や推薦書等の改善を検討するとともに、次代のリーダー育成に努める。
	11 女性の漁業士数(累計) 水産振興課	人	13	11	15	16	低	23年度及び24年度は、東日本大震災津波被害からの復旧・復興対応を最優先とする現場の実情を考慮し、認定手続きを休止した。一方で、認定期間満了（66歳まで）に伴い、基準年度に比べ2名減となっている。 今回評価時点（H25.7月末）において、現場の実情に変わりは無く、27年度の目標達成が困難な状況であるが、25年度以降は認定手続きを再開する予定であり、沿岸各地域における女性漁業士の確保と充実した活動展開を支援していく。
	12 男性の男女共同参画サポーター認定者数(累計)(再掲) 男性のサポーターがいる市町村の割合(再掲) 青少年 ・男女共同参画課	人 (H22) %	68 58.8	83 63.6	85 70.0	118 100.0	中 中	平成23年度が目標値を大きく下回ったが、24年度は年間10名の目標に近い9名を認定したところ。今年度は目標を上回るよう、4月に全市町村に対し、文書により指標の周知と目標達成のため男性の受講を促す文書を発出した。次年度以降に向け、男性が参加しやすい方法の検討や商工団体への働きかけを予定。 平成23年度より3.0ポイント増加したが、目標には達していない。今年度4月に市町村に対し文書により指標の周知と目標達成への協力を依頼した。
	13 社会慣習の中での不平等感の割合(再掲) [↓(低減する)指標] 青少年 ・男女共同参画課	%	72.8	72.7	66.4	60.0 以下	中	前年に比べ0.1ポイントの減となり微減となった。東日本大震災により、普及啓発活動を十分実施できなかったことも一因と考えられる。不平等感が低減するよう、男女共同参画意識の普及に努めていく。

「男女共同参画プラン」に係る指標の達成度（平成24年度実績）

【主要指標】

施策の 体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			21年度	24年度	24年度	27年度		
Ⅲ 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援	14 DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合 青少年 ・男女共同参画課	%	80.2	72.6	85.1	90.0	低	前回に比べ7.6ポイントの減となり、目標値を大きく下回った。内容、名称ともに知っている人の割合が前回より減少していることから、普及啓発活動に力を入れていく。
	15 自治体の相談支援センター、警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている人の割合 青少年 ・男女共同参画課	%	43.5	42.3	61.7	80.0	低	前回に比べ1.2ポイントの減となり、目標値を大きく下回った。今後は、あらゆる機会を捉えて、普及啓発活動に力を入れていく。